



未来へつなぐ、プラスチックとの向き合い方

キューピー通信 Vol.109

キューピーが描く 循環型社会

8月2日(火)に発行

キューピー株式会社

キューピー株式会社(本社:東京都渋谷区、代表取締役 社長執行役員:高宮 満、以下キューピー)は、「キューピー通信」Vol. 109『キューピーが描く 循環型社会』を8月2日(火)に発行します。キューピーグループのサステナビリティ活動の中でも「資源の有効活用・循環」は重要なテーマです。SDGs や3R、プラスチック循環促進法施行などに対する、キューピーグループのプラスチックとの向き合い方について、社長のインタビューを交えてお伝えします。

CONTENTS



https://www.kewpie.com/newsrelease/items/2022/items/pdf/2022/newrelease_20220802_P_Vol.109.pdf

キューピーが描く 循環型社会

—未来へつなぐ、プラスチックとの向き合い方—

社長が語る未来像

●キューピーグループが紡いできたもの

- 1 キューピーグループのサステナビリティ
- 2 原点は「お客さまのため」
- 3 「みんな」でやれば世界は変わる

●専門家に聞く 現代社会のプラ事情

- 4 企業をジャッジするモノサシが変わる

●押さえておきたい! プラスチックの課題と取り組み

- 5 2060年、地球にはプラごみがあふれる
- 6 日本のプラごみ現状
- 7 法律で守る!
- 8 循環型社会、始動

●開発者に聞く 容器包装の理想と現実

- 9 人と社会に向き合ったら、容器包装も変化
- 10 業界全体で仕組みを変える
- 11 数値目標がある方が取り組みやすい
- 12 サーキュラーエコノミーの実現に向けて

